

# 図書館におけるバーチャルツアーについて -各キャンパスメディアセンターの取り組み-

つじ なつみ

(日吉メディアセンター)

## 1 はじめに

世界各国で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」とする）の蔓延に伴い、メディアセンターでも従来行っていた対面式のイベントやガイダンスの実施が困難となった。そこで各キャンパスのメディアセンターでは、図書館の使い方やサービスについて知ってもらうため、オンラインで館内ツアーを実施するなどの取り組みがなされた。

本稿では私が直接携わった「日吉図書館バーチャルツアー」<sup>1)</sup>に関する報告のほか、三田メディアセンター、理工学メディアセンターでの取り組みや、各メディアセンターが作成したコンテンツがどのような影響をもたらしたかも併せて報告する。

## 2 日吉メディアセンター

### (1) 背景

慶應義塾大学日吉メディアセンター（日吉図書館）（以下「日吉」とする）では、2021年3月15日に「日吉図書館バーチャルツアー」を公開した（図1）。このタイミングで公開したのは、2021年度の入学予定者にも視聴してもらいたかったためである。毎年4月第1週のガイダンスの時期に行っている対面式での「日吉図書館探検ツアー」が、2020年度以降コロナの影響で中止となり、図書館の使い方やフロアの詳細を新入生に案内することができなくなってしまった。2021年度も対面式でのツアーの実施は難しく、代替案に頭を悩ませていたが、360度画像を公開していた慶應義塾ミュージアム・コモنز（KeMCo）（以下「KeMCo」とする）に相談したところ、建物を3D画像で撮影してWeb公開する提案があり、バーチャルツアーの実現に至ることができた。このツアーでは日吉の地下1階から4階のほか、通常は上がることのできない図書館屋上の貴重な風景も見ることができる。

### (2) 完成までの経緯

2020年12月下旬にKeMCoの担当者の方々と基本

方針の打ち合わせをし、日吉のバーチャルツアーはMatterport<sup>2)</sup>という超高画質・高機能の360度3D映像の扱いに長けたプラットフォームで公開することになった。これを使うことで、パソコン、タブレット、スマートフォンでまるで現場にいるかのように当館の館内を体験することができる。（図1）



図1 日吉図書館バーチャルツアーの様子  
視聴したい場所を選択すると解説も見られる

コンテンツ作成にあたり、視聴者が図書館の使い方や建築について学べるよう、日吉のスタッフがバーチャルツアーで取り上げるポイントの選定を行い、最終的に100か所以上を紹介することになった。画像やリンクを埋め込む場所についても館内平面図で確認しながらExcelで一覧にまとめ、これを元に今後の修正や更新ができるようにした。

人の映り込みを避けるため、3Dカメラでの大掛かりな撮影は入試期間に伴う休館日に行った。館内の通路1.5メートルおきに透明なシールを貼り、画像を撮影する箇所の目印とした。データをMatterportに取り込んだ後、空間同士を繋ぐ作業や、テキスト入力、タグ設定などの編集作業、動作確認を経て、予定どおりの公開に至った。この約3か月間の制作に携わったのは、図書館職員3名、KeMCoスタッフ6名（院生アルバイト含む）である。

今回はMatterportを取り入れている企業や教育機関のコンテンツも参考にし、視聴者が自由に操作できる機能はもちろんのこと、各フロアの要所のみを視聴できる「自動ツアー再生」機能も用意した。YouTubeと連携させ、電動書庫などの開閉操作や、

入退館ゲートの認証方法も紹介している。

### (3) 評価

バーチャルツアーは新入生お知らせシステムや当館およびKeMCoのWebサイト等で広報したほか、慶應義塾の機関誌『三田評論』でも取り上げていただいた。おかげで公開から3か月で約4,000回のアクセスがあった。1階、2階の順でアクセスされている件数が多く、これらと比較すると3分の1ほどの数値にはなるが、通常は上がれない屋上へのアクセスもあったため、興味を持ちバーチャルでのツアーを楽しんでくれた人がいたのは嬉しい限りである。

日吉で読書推進のために活動している学生ボランティア（図書館フレンズ<sup>3)</sup>）や、カウンターに本の貸出手続きに訪れた学生に声を掛けてバーチャルツアーのアンケートに協力してもらったところ、「建物を3Dで見られて面白かった」「図書館を活用しなくなった」という声が聞かれた。

この状況下のため慶應義塾の新任職員は入職前に実際のキャンパスに行ってみることができなかったものの、バーチャルツアーを使った研修を通して「解説も見ながらリアルに学ぶことができた」といった感想もあった。また、例年は対面式で実施している日吉のオンラインセミナーにおける館内紹介や、建築を取り扱う授業でも活用され、学生や教員から好評をいただいた。

その一方で前述のアンケートでは、「自分で操作できるのが楽しい反面、動作に手間がかかってしまい少し面倒に感じた」「移動スピードが遅い」「参加意欲が湧きにくい」などのマイナス意見も寄せられた。Matterportの性能を活かしながら、コンテンツの構成を工夫しなければならないことを痛感した。

### (4) 今後について

日吉のバーチャルツアーは概ね良い評価をいただいたが、「短い時間で必要な情報を得たい」というユーザー向けの工夫も必要であると感じている。前述のアンケートでは「自習室の案内に飛べるようにしてほしい」「どこのエリアに何の系統の本が集まっているか最初に表示してほしい」などの意見も寄せられた。これらも参考にし、見直しを図っていきたいと考えている。バーチャルツアーはコロナ禍における特別な対応の一環ではなく、日吉図書館がより

便利に活用されるために、今後も管理していきたい。

歴史を紐解いてみると、1992年頃には既に「ライブラリーアドベンチャー」という名称でガイド付きの館内ツアーが行われていた記録がある。コロナ禍前に実施した2019年の「日吉図書館探検ツアー」にも新入生が500人ほど参加していた。対面式の館内ツアーは新歓期に上級生と新入生が交流する機会の一つでもあったので、いずれは復活させたい。

## 3 三田メディアセンター

### (1) 背景

三田メディアセンターにおいても、コロナ禍によって対面での図書館オリエンテーションに参加できなくなった学生向けに、施設やサービスを伝える必要が生じた。そこでバーチャルツアーとして「施設を知る」というスライドショーを作成した。

### (2) 完成までの経緯

三田メディアセンターでは例年、日吉キャンパスから進級してくる学生を主な対象として、4月から6月にかけて資料の探し方を案内する「ライブラリー・オリエンテーション」（以下「オリエンテーション」とする）を実施している。通常では3月に予約受付等を行うが、コロナ拡大防止のために館内のイベントエリア閉鎖が決定し、オリエンテーションの開催そのものが危ぶまれた頃でもあった。そこで、来館せずに図書館サービスや資料の入手方法を動画中心に学ぶことができる「三田メディアセンターオンラインオリエンテーションガイド」<sup>4)</sup>というWebサイトを作成した。「施設を知る」はその中の一つのコンテンツとして、結果として決定した大学内施設閉鎖に先駆け、2020年4月1日に公開した（図2）。



図2 三田メディアセンター オンラインオリエンテーションガイド  
館内ツアー「施設を知る」は上段左から二番目

## 特集 コロナ時代に変化する大学図書館：COVID-19とメディアセンターの1年

「施設を知る」は、大学内施設の閉鎖下に三田キャンパスの授業で推奨されたパワーポイントに音声吹き込み形式を採用した。また、既存オリエンテーションのスライドを土台にし、迅速に公開することを心掛けた。広報としては三田メディアセンターのWebサイトやTwitter、学内向けプラットフォーム“keio.jp”に案内を掲載したほか、例年オリエンテーションを希望する各研究会宛にもメールを送付した。

### (3) 評価

「施設を知る」は、のべ210回アクセスされ（2021年5月現在）、教員からは授業でも活用したいといった感謝のコメントをいただいた。また、「三田メディアセンターオンラインオリエンテーションガイド」全体では2020年度だけで5,341回アクセスされた。キャンパス内立ち入り禁止期間やコロナ拡大防止のための外出自粛期間の中にありながら、図書館について知りたい利用者に情報を提供する役割の一部を果たしたといえる。

### (4) 今後について

2021年度には三田キャンパスでも対面授業が始まり、学生が図書館や印刷版資料を使用する機会が増えている。Zoom等のWeb会議システムを用いて実施しているオリエンテーションでは、「施設を知る」のほか、スタッフが研究会のテーマに合わせて館内フロアや書架を撮影し、受講者に案内している。

コロナ対応としてバーチャルツアーを実施することで、利用者は時間的な制約なしに館内を見ることができるようになり、図書館スタッフは人数やスペースの制限なくツアーが実施できることに気付いた。コロナが収束した後も、今回の経験で学ぶことができたノウハウを活用し、効果的な利用者教育についてレファレンス担当内で検討していきたい。

## 4 理工学メディアセンター

### (1) 背景

理工学メディアセンターも、コロナ禍以前は研究室向けの文献探索セミナーの一部として、10分程度の館内案内を対面方式で行っていたが、代替策として動画形式の「オンラインツアー」<sup>5)</sup>（図3）を作成した。このほか、「文献探索セミナー」もZoom形

式のオンライン版に変更するなど、矢上キャンパスに来られない学生に向けたオンラインコンテンツの作成に力を注いでいる。

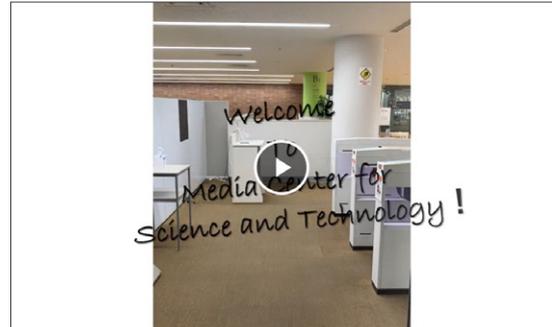


図3 理工学メディアセンターのオンラインツアー

### (2) 完成までの経緯

「オンラインツアー」のターゲットは矢上キャンパスに初めて訪れる理工学部3年生のほか、理工学メディアセンターを初めて利用する学生向けとし、図書館スタッフ3名が2021年1月中旬から3月中旬にかけて制作した。「行ってみたい」と学生が思えることに主眼を置き、可能な限り説明的なことを省き、視覚的に簡潔で分かりやすい内容を心掛けた。視聴時間は全体で3分程度にまとめつつ、理工学メディアセンターへのアクセス方法、サービスの3つの側面（(a)各フロアの特徴や機能 (b)人的サービス (c)蔵書へのアクセス）ごとに紹介する構成とした。広報手段としては、理工学部の各研究室向けに実施した前述の「文献探索セミナー」参加者に直接案内したほか、メディアセンターのWebサイト、広報紙「理工学メディアセンターニュース」、Twitter等のSNSにて案内を行った。

### (3) 評価

視聴した学生からは「写真へのこだわりが感じられた」「初めて知ったことが多かった」といった感想があった。教職員からも「見やすい」「簡潔にまとめられている」「メディアセンターの施設が魅力的に紹介されている」といったいずれもポジティブな感想が寄せられた。アクセス回数は、2021年5月時点で150回ほどであった。

従来の「文献探索セミナー」の資料についても理工学メディアセンターWebサイトにて公開を開始しており、このように動画やコンテンツをWebサ

イト上に公開することによって、利用者が希望するタイミングで自由に情報にアクセス出来るようになった。これにより理工学メディアセンターを知ってもらえる機会が増えたと考えられる。

#### (4) 今後について

今回作成した「オンラインツアー」が好評だったため、引き続きキャンパスに足を運ぶことができない利用者向けのコンテンツとして、「写真で見る理工学メディアセンターの歴史」を制作している。このコンテンツは、2021年10月に松下記念図書館（現在の理工学メディアセンター本館）が開館50年を迎える記念として、これまでの理工学部図書館の歴史と建物を振り返り、紹介するものである。

矢上キャンパスは理工学部の学生のみが所属するため、文系の学生はあまり利用しない場所ではあるが、そのような学生にも興味を持ってもらえるようなイベントもオンラインで企画し、理工学メディアセンターの魅力をさらに伝えていきたいと考えている。

## 5 まとめ

ここまで日吉、三田、理工学の各メディアセンターの館内ツアーの取り組みを紹介したが、各キャンパスの所属者や立地などの特徴に応じてコンテンツ作成の工夫がなされ、学生や教職員に活用されていることが分かった。しかし、「いつでもどこでもアクセスできる」ことから、かえって積極的にアクセスしない、優先順位が下がってしまうという声も聞かれた。また、日吉のバーチャルツアーのように自身で画面を操作する仕組みは自由度が高い一方、ある程度テンポよく解説が聞けるもののほうが、短時間でコンテンツを楽しめるのではないかという側面も見受けられた。

コロナ禍においてはそれぞれのキャンパスでオンラインツアーの拡充が図られたが、アフターコロナの時代においては、図書館スタッフが直接館内を案内しつつ、時間内に補いきれない点をオンラインのコンテンツに任せるなど、すべてをWeb上で完結させないという姿勢も必要である。今回、それぞれのキャンパスで作成されたオンラインツアーは、図書館の利用促進や大学の授業、研究等にますます活用されていくだろう。

#### 注

- 1) 日吉メディアセンターWebサイト. “日吉図書館バーチャルツアー”.  
<https://www.lib.keio.ac.jp/hiyoshi/about/hiyoshiVR.html> (参照 2021-07-29).
- 2) Matterport公式Webサイト.  
<https://matterport.com/ja> (参照 2021-07-29)
- 3) 日吉メディアセンター. “図書館フレンズ：2021年度”.  
[https://libguides.lib.keio.ac.jp/hys\\_friends](https://libguides.lib.keio.ac.jp/hys_friends),  
(参照 2021-07-29).
- 4) 三田メディアセンター. “三田メディアセンターオンラインオリエンテーションガイド”. (現在は“動画で学ぶ資料の探し方 (三田メディアセンター)”).  
[https://libguides.lib.keio.ac.jp/mit\\_tutorial](https://libguides.lib.keio.ac.jp/mit_tutorial),  
(参照 2021-09-07). ※要keio.jp認証
- 5) 理工学メディアセンターWebサイト. “オンラインツアー・ショートムービー公開!!”.  
[https://www.lib.keio.ac.jp/news/003467\\_Jp.html](https://www.lib.keio.ac.jp/news/003467_Jp.html),  
(参照 2021-07-29).